

パーキンソン病総合治療センター・神経内科を受診されている方へ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	心シンチグラフィ検査の最新の解析手法がパーキンソン病を診断するために有用かどうかを検証する研究 (正式課題名：パーキンソン病診断における $^{123}\text{I-MIBG}$ 心シンチグラフィの標準化解析結果の有用性の検証)
研究機関の長(試料・情報の管理責任者)	愛知医科大学病院 病院長 道勇学
研究責任者	パーキンソン病総合治療センター 助教 田口宗太郎
研究の対象となる方	2020年1月から2026年8月の間に、愛知医科大学病院において、パーキンソニズムの原因を診断するため、心シンチグラフィをおこなった方
研究期間	研究実施承認日 ～ 2026年12月31日
研究目的及び利用方法	〔利用目的〕心シンチグラフィ検査の最新の解析手法がパーキンソン病を診断するために有用かどうかを検証することです。 〔利用方法〕対象となった方について、面談・診察・検査等の結果および治療内容についての情報を収集します。最新の解析手法を用いた心シンチグラフィ検査の結果がパーキンソン病を診断するために有用かどうかを検証します。研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される方は、下記問い合わせ先までご連絡お願い申し上げます。 〔外部への試料・情報の提供〕非該当 〔外部への提供開始日〕非該当
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	試料：非該当 情報：診療録(カルテ)から、年齢、性別、既往歴、併用薬、心シンチグラフィ検査の結果、診断名等を収集
提供する試料・情報を用いる学外の研究責任者	非該当
試料・情報を利用する学外の者	非該当
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2026年11月30日までに郵送、電話等により下記問い合わせ先まで申し出てください。

外国への試料・情報の提供	非該当
問い合わせ先	愛知医科大学病院 パーキンソン病総合治療センター 担当者：助教 田口宗太郎 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311 (内線 23510)